NEWS RELEASE

東武鉄道株式会社

２０２２年７月１５日

日光と出会う、新しい旅へ。

特急スペーシア新型車両（N100系）の愛称名を

スペーシア　エックス
SPACIA　X　に決定しました

～2023年7月15日（土）より運行開始します～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、現在製作を行っている特急スペーシアの新型車両（Ｎ１００系）について、その**車両愛称名を「ＳＰＡＣＩＡ　Ｘ（スペーシア　エックス）」**に、また、**運行開始日を２０２３年７月１５日（土）とすることに決定しました。**

愛称の決定にあたっては、当社の日光・鬼怒川エリアへの輸送の代名詞としてお客様に長年愛されてきた「特急スペーシア」の伝統を維持・継承するとともに、新型車両に期待される役割を象徴した「X」の文字を加えることで、特急スペーシアの正統進化を想起させるものとしました。

また、愛称ロゴについては、車両エクステリアデザインにもモチーフとして取り入れた「鹿沼組子」をイメージした書体を新規開発し、車両エクステリアデザインと統一性を持たせるものとしました。

なお、６月１日（水）から７月１４日（木）まで実施した「みんなで新型特急スペーシアの愛称を予想しよう！キャンペーン」には、２万名を超えるご応募をいただきました。正解された方の中から抽選で１００名の方に豪華賞品をプレゼントします。

車両愛称名、運行概要の詳細につきましては別紙のとおりです。

△ 車両エクステリアデザイン（イメージ）

SPACIA

X

Tobu Limited Express

△ 「ＳＰＡＣＩＡ　Ｘ」ロゴ

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター　TEL０３－５９６２－０１０２

特急スペーシア新型車両（Ｎ１００系）の車両愛称名、運行概要について

１　車両愛称名について

（１）車両愛称名　　ＳＰＡＣＩＡ Ｘ（スペーシア　エックス）

（２）愛称設定経緯

①「スペーシア」への想い

日光・鬼怒川エリアへの輸送の代名詞である特急スペーシア。
お客様からの認知度も高く、「東武特急＝スペーシア」として定着。
新型車両の愛称名は、スペーシアが築いてきた伝統や認知度・イメージを維持・継承しながら、より上質なフラッグシップ特急として「進化したスペーシア」を端的に表現したものとしたい。

＋

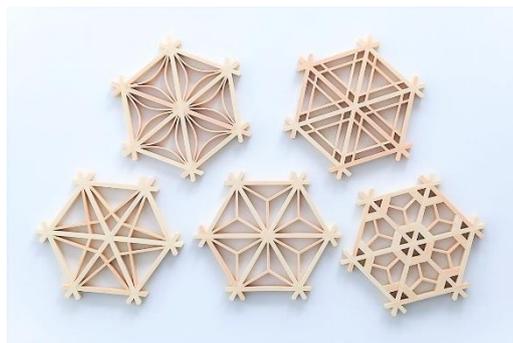
②「Ｘ」の着想

・車両エクステリアデザインにモチーフとして取り入れた鹿沼組子の象徴的な「Ｘ」模様。
・新型車両による旅体験（Experience）を表す「Ｘ」。
・新型車両がお客様に提供する様々な価値を表す「Ｘ」。
　→Excellent，Extra，Exciting，Extreme，Exceed・・・
・新型車両が、文化や人々が交わり（cross ＝ 「Ｘ」）縁をつくる存在であること。
・新型車両が、未知なる（Ｘ）可能性を秘めた存在であること。

＝

特急スペーシアの正統進化を想起させる愛称として

SPACIA X

愛称ロゴは、車両エクステリアデザインと統一性を持たせるため、
鹿沼組子をイメージした書体を新規開発し作成。

△ 鹿沼組子（画像提供：鹿沼市観光交流課）

２　運行概要について

（１）運行開始日

２０２３年7月１５日（土）

（２）運行区間

東武スカイツリーライン・日光線・鬼怒川線　浅草～東武日光・鬼怒川温泉駅間

（３）停車駅

浅草・とうきょうスカイツリー・北千住・春日部・栃木・新鹿沼・下今市・東武日光
東武ワールドスクウェア・鬼怒川温泉

（４）運行ダイヤ

毎日２～４往復（予定）
※４往復の運行日は週末を中心に設定予定です。
※観光に便利な時間帯の発着ダイヤを検討しています。
※より詳細な運行計画その他につきましては、決定次第お知らせいたします。

（５）特急料金、特別座席料金

スペーシア　Ｘの特徴である多彩なシートバリエーションについて、それぞれの特急料金ならびに特別座席料金について決定いたしましたのでお知らせします。

各種特別座席をご利用の場合は、スタンダードシート特急料金に加えて、特別座席料金が必要となります。

特急料金	スペーシア　X	現行スペーシア
スタンダードシート	1,940 円	（平日）1,360 円 （土休日）1,470 円
プレミアムシート	2,520 円	－

※浅草～東武日光間

特別座席料金	スペーシア　X	現行スペーシア
コックピットラウンジ （１人・２人・４人用）	200 円/1 人用 400 円/2 人用 800 円/4 人用	－
ボックスシート（２人定員）	400 円/室	－
コンパートメント（４人定員）	6,040 円/室	（平日）3,150 円/室 （土休日）3,770 円/室
コックピットスイート（７人定員）	12,180 円/室	－

以　上

＜参　考＞

新型車両　Ｎ１００系　概要

１　**車両型式名**　Ｎ１００系
２　**愛　　称**　ＳＰＡＣＩＡ Ｘ（スペーシア　エックス）
３　**導入両数**　２４両
４　**編　　成**　６両固定
５　**座 席 数**　２１２席
６　**導入路線**　東武スカイツリーライン・日光線・鬼怒川線　浅草～東武日光・鬼怒川温泉駅間
７　**導入時期**　２０２３年７月１５日（土）
８　**製作会社**　日立製作所
９　**車両デザイン**

現行スペーシアのフォルムを現代に進化させ、デザインに取り入れました。カラーリングは日光東照宮陽明門・唐門・御本社に塗られた「胡粉（ごふん）」の白を彷彿とさせる高貴な白をイメージし、窓枠は鹿沼に伝わる組子や、竹編み細工といった江戸の手仕事を思わせる丁寧につくられた工芸品のような佇まいで、大切なものを包み込んでいるかのような期待感を演出しています。

10　**その他**

○カフェカウンター
「自分だけの最適な日光・鬼怒川エリア」と出会える場となるため、新しいものを積極的に取り入れ、ここでしか出会えない五感で楽しむ商品等を提供します。

○カーボンニュートラルな運行
現行スペーシアと比べＣＯ２排出量を最大４０％削減するほか、本特急列車運行の使用電力相当分を東京電力エナジーパートナー㈱の FIT 非化石証書を活用したメニューなどを使用することでＣＯ２排出量実質「ゼロ」となる電力に実質的に置き換え、「国際エコリゾート日光」の実現に寄与します。

○新型コロナウイルス対策
当社初となる高度な除菌消臭機能を有する空気清浄機を搭載するなど、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を図ります。

○多彩なシートバリエーション
現行のスペーシアを継承しながらもより上質な空間となった個室をはじめ、全６種類のシートの中からお客様それぞれの旅行スタイルに合うものを選んでいただけます。

△コックピットスイート（イメージ）

△コンパートメント（イメージ）

△コックピットラウンジ（イメージ）

△プレミアムシート（イメージ）

△ボックスシート　（イメージ）

△スタンダードシート（イメージ）

以　上

＜参考２＞

東武鉄道 日光線特急列車のあゆみ

△トク1形５００号

△１７２０系
（デラックスロマンスカー）

△１００系（スペーシア）
※就役当時

1929(昭和 4)年10月1日　日光線全線開通

1929(昭和 4)年12月　浅草～東武日光間に展望車・トク１形５００号を運転
- 豪華展望客車として、展望デッキや料理室などを設置。絨毯敷きの特別室にはソファーやテーブルも配置し、温かい料理で乗客をもてなした。

1935(昭和10)年12月　デハ１０形が就役
- ゆったりしたクロスシートと八角形のシャンデリアが特徴で、売店や化粧室も設けられた。

1949(昭和24)年 2月　特急「華厳号」・「鬼怒号」を運転開始
- 毎日１往復、土曜・日曜は２往復運転

1951(昭和26)年 9月　５７００系が就役
- 車内照明には当時としては珍しい蛍光灯を使用。流線形のＡ編成は「ネコひげ」の愛称で親しまれた。

1956(昭和31)年 4月　１７００系が就役
- 外国人観光客を意識した洋式トイレ、斬新なインテリアと喫茶設備のある売店、回転式リクライニングシートを採用。窓下の太めの白帯が特徴で「白帯」と呼ばれた。

1960(昭和35)年10月　１７２０系「デラックスロマンスカー」が就役
- 外観的な特徴はボンネットタイプと呼ばれる先頭形状で、貫通路にはマジックドアと呼ばれた自動ドアを採用した他、ジュークボックスを設置したサロンルームや、２箇所のビュッフェなど居住性と高級感を感じる内容だった。後に英語が堪能なスチュワーデスが乗務した。

1990(平成 2)年 6月　１００系「スペーシア」が就役
- 客室には民鉄初のコンパートメントルーム(個室)を設置。車内の音響にはステレオスピーカーで楽しめるオーディオシステムを導入（リニューアル時に撤去）した他、ビュッフェ、サービスカウンターを設置した。
- 1991年　ブルーリボン賞受賞
- 2011年12月より東京スカイツリータウン®の開業に合わせて、順次リニューアルを実施。

2006(平成18)年 3月　ＪＲ新宿～東武日光・鬼怒川温泉間で、ＪＲ東日本と特急列車の相互直通運転開始

2017(平成29)年 4月　５００系「リバティ」が就役
- ３両固定編成を併結・分割する特長を活かし、「リバティきぬ」「リバティけごん」で活躍。

2023(令和 5)年 7月　Ｎ１００系「ＳＰＡＣＩＡ　Ｘ」が就役

【現在運転している日光線特急列車】

△１００系　(スペーシア)

△５００系（リバティ）

以　上